

# 2024 年度 事業報告書

しが NPO センター

2024 年度は、前年にも増して世界的な情勢不安定さが加速した。ロシアのウクライナ侵攻、イスラエルによるパレスチナへのジェノサイドが収束する方向が見えない中、アメリカではトランプが大統領に返り咲き、自国中心の傍若無人ぶりを撒き散らしている。

国内に目を向けると、石破内閣が誕生し総選挙があったが、裏金問題が尾を引き、総選挙では少数与党となって政権運営が不安定となっている。米の高騰、物価高による国民生活への不安は今後のこの国のあり方を根本的に問うような問題を投げかけている。また、関西では兵庫県知事による文書問題が全国的に注目され、まだ収束する気配もない。兵庫県知事を見ていると、こんなに県民のことを考えない首長がいるのかと思わざるを得ない。

しが NPO センターが世界情勢や日本で起こっていることに直接的に働きかけることはできないものも、民主主義の危機、日本のこれからを考える上での問題提起を、毎月のコラム発信や読書会を通じて行っている。こうした発信に加え、市民が自立的・自律的に動くことが必ず良い社会をつくるという思いを持ち、市民活動がその中心になって多様な活動を展開していくような支援をしが NPO センターとして引き続き行ってきた。

2023 年度に久しぶりに県からの委託事業受けたが、それも 1 年で終わってしまい、協働に対して県がどうすべきかについていろいろ提言を行ったことも無視され、結局、何も前に進んでいない状況には忤怩たる思いがある。

そのような中、改めて協働を考える機会となったのが、総会後の幸重忠孝さんの講演会「協働とは何かを考えてみよう～子ども・若者対策を中心に～」である。行政の対応にがっかりせずに根気強くアプローチしていく必要性を与えてもらった。

市民活動支援のベーシックな活動である相談事業は、しが NPO センターで重要な位置付けをしており、設立当初から多岐にわたる内容の相談に応じてきた。オンライン相談も活用した。

企業・団体との協働関係では、引き続き、平和堂財団の環境保全助成金事業「夏原グラント」、生活協同組合コープしがの「できるコトづくり制度」に取り組んだ。大和リース（株）との協働事業である「まちづくりスリット大津」は、NPO 法人まちづくりスリット大津のアドバイザーとしてサポートした。「夏原グラント」は、滋賀県・京都府の環境保全等の市民活動団体の活動を支える役割を果たしている。民間の助成金規模としては滋賀県では突出している。個別コンサルティング、訪問レポートを専用サイトに掲載することでの情報公開などにも対応した。継続希望団体へのヒアリング、相談会の実施、団体の組織運営サポートなどにも積極的に取り組んだ。次年度からはまちづくりスリット大津へ事務局が移管されることに伴い、そのサポートすることになっている。「できるコトづくり制度」はコープしがが主宰し、さまざまな「想い」や「願い」を持った個人や団体が新たな一歩を踏み出すための学習の場の提供と、それらを実現させるために必要な資金の助成の二本立てとなっている。講座はオンラインと会場での開催、助成金説明会・相談会もオンライン併用で行うとともに、団体の訪問レポートを専用サイトに掲載することでの情報公開などにも対応した。

「災害ボランティアコーディネート事業」では、しが NPO センターが事務局を担っている「災害支援市民ネットワークしが」の研究会を、近畿ろうきんの NPO パートナースHIP 制度/働く人と子どもの明日を応援プロジェクトの活用により 3 回実施した。

## 1 市民活動・NPO 支援のための情報提供、相談・コンサルティング、マネジメント及び人材育成に関わる事業

### (1) 情報提供

ホームページ、フェイスブック、X（旧ツイッター）などで、NPO 支援のための情報や NPO コラムを発信した。

会員に向けては、メールの一斉送信などで情報提供を行った。

### (2) 相談・コンサルティング

#### 相談業務

2024 年度の有料相談は 1 件で、組織の立ち上げと組織運営についてであった。法人立ち上げ運営に関して、メールでの相談にも対応した。

引き続き委託業務内での相談も多く、丁寧に対応した。

### (3) 守山市市民活動活性化アドバイザー

守山市から、中間支援機能の充実を図るため、専門的な見地からの意見・助言を行うためのアドバイザー派遣の要請があり、当法人の理事が、その任に当たった。具体的な内容としては、個別の市民活動に関すること、団体同士のマッチングに関すること、情報が集まる拠点づくりに関すること、その他市民活動に有益な情報提供などである。

### (4) 「新書 de 読書会」

2024 年度も毎月第 3 月曜日（祝日の場合は前後で設定）を基本に定例開催した。2016 年度から始めて、2025 年 2 月の開催で 100 回を数え、2024 年度で通算 101 回を数えることとなった。参加者が安定的になってきていることもあるが、新たな参加をうながし、多様なテーマや多彩な話題提供者による読書会を展開していきたい。

#### ①2024 年 4 月 15 日（月）19:00～20:30

課題本：なぜ日本は原発を止められないのか？ 著者：青木美希 出版：文春新書：

#### ②2024 年 5 月 20 日（月）19:00～20:30

課題本：実験の民主主義 トクヴィルの思想からデジタル・ファンダムへ

著者：宇野重規 出版：中公新書

#### ③2024 年 6 月 17 日（月）19:00～20:30

課題本：プア・ジャパン 著者：野口悠紀雄 出版：朝日新書

#### ④2024 年 7 月 22 日（月）19:00～20:30

課題本：訂正する力 著者：東浩紀 出版：朝日新書

#### ⑤2024 年 8 月 19 日（月）19:00～20:30

課題本：共感革命～社交する人類の進化と未来 著者：山極寿一 出版：河出書房新書

#### ⑥2024 年 9 月 30 日（月）19:00～20:30

課題本：鈴木邦男の愛国問答 著者：鈴木邦男 出版：集英社新書

#### ⑦2024 年 10 月 21 日（月）19:00～20:30

課題本：自由とセキュリティ 著者：杉田敦 出版：集英社文庫

⑧2024 年 11 月 18 日（月）19:00～20:30

課題本：大阪・関西万博「失敗」の本質 著者：松本創 出版：ちくま新書

⑨2024 年 12 月 16 日（月）19:00～20:30

課題本：自民党の大罪 著者：適菜収 出版：祥伝社

⑩2025 年 1 月 20 日（月）19:00～20:30

課題本：「戦前」の正体 愛国と神話の日本近現代史

著者：辻田真佐憲 出版：講談社現代新書

⑪2025 年 2 月 17 日（月）19:00～20:30

課題本：昭和歌謡史 古賀政男、東海林太郎から、美空ひばり、中森明菜まで

著者：刑部芳則 出版：中央公論新書

⑫2025 年 3 月 17 日（月）19:00～20:30

課題本：我々の死者と未来の他者 著者：大澤真幸 出版：インターナショナル新書

## (5) 講演会

総会終了後、講演会を開催した。

2023 年度に実施した「協働で進める子ども・若者まんなか活動助成支援事業」では、支援に取り組んでいる多くの団体と関わることができた。その中で、これからも子ども・若者を対象とした支援活動のニーズは高く、多彩な支援が求められていることがわかった。しかしながら、支援していく団体の運営や体制整備には課題が多いことも分かった。子ども・若者の支援に関しては、民間団体だけではなく行政の支援は欠かせない。そこで、子ども・若者の支援を協働の視点から考えてみようという切り口で講演会を開催した。

講師には、こどもソーシャルワークセンターの幸重忠孝さんをお迎えし、日常的な活動だけではなく、行政との協働に取り組んだ経験などについてお話を伺った。民間でしかできない活動もあるが、行政と協働を進める方が進むこともあり、それを理解したうえで取り組む必要があることを丁寧に教示いただいた。

日時：2024 年 5 月 26 日（日）14：30～16：30

テーマ：協働とは何かを考えてみよう～子ども・若者対策を中心に～

講師：幸重忠孝さん こどもソーシャルワークセンター

参加者：18 名

## (6) 明治ホールディングスお菓子寄贈 団体推薦

明治ホールディングスおよび同株主より社会貢献活動の一環として、明治グループの製品（お菓子）の寄贈が、日本 NPO センターが事務局を担い全国約 300 か所で行われている。日本 NPO センターから各都道府県の中間支援センターへ、お菓子寄贈にふさわしい対象団体の推薦依頼があり、それに対応した。対象団体は「(1) 障がいのある子どもを対象とした活動を行っている団体」「(2) 自然災害の被災地支援活動をしている団体（子どもを含む地域住民支援）」「(3) 自然災害の広域避難者を支援している団体（子どもを含む地域住民支援）」「(4) 東日本大震災の被災地支援、広域避難者支援をしている団体（子どもを含む地域住民支援）」となっており、滋賀県から「NPO 法人子育て研究会」「近江八幡市余暇支援クラブ はちのこ」

「NPO 法人子育て・子育てサポートきらきらクラブ」の 3 団体を推薦した。3 団体とも承認を受け、お菓子が寄贈された。

## 2 地域コミュニティ支援のための情報提供、相談・コンサルティング、マネジメント・人材育成に関わる事業

### (1) 情報提供

地域コミュニティ、特にまちづくり協議会に対する中間支援に必要なメニューをとりまとめ、今後の相談対応時のコンテンツとして使えるようにしている。必要に応じて情報が提供できる体制にある。

### (2) 講座・発表

地域コミュニティ、特にまちづくり協議会に関する講座や報告の依頼に対応した。内容は、地域コミュニティを支える組織（自治会・自治連合会・地域自治組織）についての役割や、特色ある取り組み、次世代育成の先進事例についてである。

2024 年 6 月 4 日

長浜市市民協働セミナー「みんなで考えよう～“地域づくり協議会”のこれから～」

2024 年 6 月 17 日

まちスポ主催 市内中間支援組織向け基礎講座「地域のしくみをひもとく」

2024 年 7 月 5 日

コミュニティ政策学会名張大会「人口減少下における新たなコミュニティの仕組みづくり」

### (3) 相談・コンサルティング

大津市のまち協中間支援（本年度より大津市民活動センターが担う）へのサポート

まちづくりスポット大津の県内まち協からの視察対応時に、サポート・助言を行った。

### 3 協働推進

#### (1) 企業・団体との協働

##### ① 平和堂財団 環境保全活動助成事業「夏原グラント」（受託事業）

2011年度のスタートから、今年度は13回目の採択団体が活動する期であった。長年取り組んできた蓄積を活かしながら、新たな団体との関係性を築いてきている。交流会ではその良さが活き、団体間の交流が進んだ。選考委員から、継続応募に当たって成果が書類に反映されていないとの指摘があり、中間報告と次年度応募書類への記載について説明する書き方講座をオンラインで実施した。

2025年度から、夏原グラントの運営事務局をNPO法人まちづくりスポット大津へ移行するにあたって、具体的な取り組みを進めた。事業報告書のチェック作業、活動報告書の作成、募集要項の作成、活動訪問の取材・記事作成・HPへの掲載、説明会・相談会の同席、プレゼンテーション・選考委員会の進行補助などについては、それぞれの内容に応じて作業の分担量を多くした。それに併せて、具体的で詳細な引継ぎを行った。

##### i 助成団体

・一般助成1年目	14団体	助成金総額	4,890,000円
・一般助成2年目	15団体	助成金総額	5,716,000円
・一般助成3年目	12団体	助成金総額	4,800,000円
・ステップアップ1年目	1団体	助成金額	500,000円
・ファーストステップ助成1年目	8団体	助成金総額	731,000円
・ファーストステップ助成2年目	13団体	助成金総額	1,300,000円
計	65団体		17,937,000円

2024年度助成金対象団体については2023年度中に選考委員会を実施している。

選考委員会は一般1年目1次選考のみ非公開の書類選考で2次選考に進む団体を決定、一般1年目2次・一般2年目はプレゼンテーションと選考委員会、一般3年目は個別ヒアリングを行い取りまとめた結果を選考委員会で報告、ステップアップ助成1年目は書類審査で採否を決定した。ファーストステップ助成は1年目・2年目ともに、書類確認の上、採否を決定した。2年連続採択がなかったステップアップ助成が、2024度は1団体が採択となった。このステップアップ助成は、対象となる環境保全活動だけではなく、活動を継続していくための団体の課題解決に向けて伴奏支援をしていくもので、設定された課題解決のための取り組みが必要であり、それに向けての助言を行った。

2024年度の助成金対象団体数と助成額は以下のとおりである。

##### <一般1年目>

団体名	事業名	助成金額
由良川サケ環境保全実行委員会	サケ環境保全啓発事業	300,000
下区集落支援事業委員会	炭焼きの伝統継承と森林保全活動	500,000
東近江トレイル実行委員会	東近江トレイルコース にぎわい里山づくり	250,000
Stay Forest	里山有効利用による地域活性化と名所作り	350,000

比良比叡トレイル協議会	比良比叡山域における稀少植物の実態調査および維持保全活動事業	400,000
ユウスゲと貴重植物を守り育てる会	伊吹山三合目 豊かな植生を守る獣害防止金属柵設置事業	500,000
特定非営利活動法人 花と観音の里	チーム「出会いの森」	300,000
SYK 重利夢工房	里山保全と利用しやすい里山づくり	400,000
今郷棚田集落協定	今郷棚田における自然環境の保護・保全活動	350,000
藪の竹ぼうき	バンブードームを作って竹工作を楽しもう！	370,000
立命館大学経営学部プロジェクト団体 丹後村おこし活動チーム	有機農業拡大	250,000
久多里山協会	暮らしの知恵を次世代へ継承する栃の実プロジェクト	270,000
21 くらやま塾	21 くらやま塾の活動	350,000
あおむしくらぶ	地域みんなで『十禅寺川いきもの調査隊』	300,000

<一般2年目>

団 体 名	事 業 名	助成金額
長浜まちなか地域づくり連合会	米川・かわまちづくり事業	350,000
ブルーシー阿蘇	生ごみ処理機の改善	350,000
朽木野鳥を守る会	朽木野鳥を守る会	500,000
上宮津・杉山エコガイドの会	里山整備に関わる次世代スタッフ育成（里山であそぼう会）	280,000
淡海淡水生物研究所	小さなびわ湖水族館オサカナラボ運営と河川環境への働きかけ	500,000
海浜植物守りたい	絶滅危惧種・希少種に指定されている野生植物の保護・保全活動	120,000
ふるさと保津	有機栽培農業塾	290,000
フロンティア協会	環境保全（竹林整備）の持続可能な視点をどうつくるか。	400,000
伊吹くらしのやくそう倶楽部	「伊吹の薬草」を未来につなぐ～仕組みづくりの挑戦～	400,000
小森クラブ	自然満喫！野外でとことん遊ぼう！！	400,000
亀岡人と自然のネットワーク	里山の恵み、長尾山の生物多様性を感じよう！	436,000
源氏藤袴会	京都自生の絶滅寸前種の保全育成を推進する	400,000
天引区の活性化と未来を考える会	希少生物の棲む石積み水路の補修と林産物の有効活用を目指す炭焼き事業の推進	390,000
東近江さとやま Nannies	東近江里山保育推進と里山保全学習事業	500,000
まるやまの自然と文化を守る会	ヨシの活用によるヨシ原の保全	400,000

<一般3年目>

団 体 名	事 業 名	助成金額
コナラ会	けいはんな記念公園における里山管理事業	400,000
吉田山の里山を再生する会	吉田山の自然環境を保全・整備し人々が集い楽しめる里山に再生する事業	500,000

スモールファーマーズ	持続可能な集落棚田のための環境保全型ネオ・スモールファーマー発掘プロジェクト	500,000
京都発・竹・流域環境ネット	竹林の整備による放置竹林の発生防止と景観保全	500,000
西の湖自然楽校	西の湖自然楽校	400,000
未来生物学研究所	滋賀県の河川・湖沼等の環境保全及び環境問題の解決を目的とした最新科学技術の活用と地域環境問題解決	300,000
雲ヶ畑・足谷 人と自然の会	ボタン科ボタン属ヤマシャクヤクの保全	500,000
オーガニック土の塾	遊んで学ぼう 里山東笠取	250,000
林業女子会@京都（花背支部）	花背の森ガタリ～土地に根ざした学びの場	350,000
京都市環境保全活動推進協会	「わきの山」における持続可能な里山利用にむけたゾーニングの検討及び実施	350,000
みどりの会伏見桃山	森の保全及び公園の清掃活動	400,000
東草野炭焼き文化保存会	山の手入れと地元の紹介イベントを通じた地域環境の活性化	350,000

<ファーストステップ1年目>

団 体 名	事 業 名	助成金額
すこやかなの里山保全会	里山の保全活動	63,000
不登校ひきこもりの親の会～お父さんコミュニティ『おっとん』	不登校・ひきこもりの親の会『おっとん』による居場所づくり活動	100,000
四季彩の柏原宿 花の会	四季彩の柏原宿 景観保全事業	77,000
青のたすき	はじまりの森プロジェクト	100,000
たなぼた家 TANABOTA_KE	つながる ひろがる ながれをつくる 地域のお宝探し隊	100,000
九条山くらし環境保全委員会	九条山自然環境保全プロジェクト	100,000
山と街をつなぐ『北山杉の里マルシェ』	山と街をつなぐワークショップ	97,000
タネカラプロジェクト	自然配植研修会	94,000

<ファーストステップ2年目>

団 体 名	事 業 名	助成金額
神田山を守り育てる会	わが里山・神田山を守り育てる事業	100,000
室橋コウノトリを育む会	野性動植物の保護・保全や生物多様性維持の活動	100,000
里山みんなの未来くらぶ	里山の自然環境と文化を守るプロジェクト～みんなで米作り！～	100,000
京都出雲阿国顕彰会	藤袴の育成と「第2 回出雲阿国・藤袴祭」の開催	100,000
篠原シニアネット	美化活動（街の美化活動）作業	100,000
鳥亮庵	水尾の暮らし体験授業	100,000
草津おみやげラボ	地図でつながるデジタルキッズ～自然体験を web アプリ「くさつお宝マップ」で発信～	100,000
甲賀ナイスローカルカンパニー	柿泥棒プロジェクト	100,000
わくわくミライラボ	「里地」と「湖」のめぐみ・つながり実感プロジェクト	100,000

たむたむ畑	結作業の復活による琵琶湖流域の環境保全プロジェクト	100,000
まんまるなないろの地球	ひとに未来に優しい地域で循環するまちづくり	
きょうのあそびば	一日プレーパーク体験	100,000
フロリ田	里山メンテナンスくらぶ	100,000

## ii 贈呈式

一般助成団体を対象に、出席者を1団体2人に限定して開催した。平和堂財団理事長から目録が贈呈され、その後は2023年度の活動の中から3団体による活動報告を行った。贈呈式終了後の交流パーティーも、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を見合わせる前と同様、立食スタイルでの実施となり、久しぶりに自由で活発な交流が行われた。

2024年4月27日（土）10:00～14:00

クサツエストピアホテル 瑞祥の間

## iii ファーストステップ1年目団体オリエンテーション

ファーストステップ団体は贈呈式に参加しないことから、夏原グラントの全体スケジュールや活動開始に当たっての注意点、事務手続きの方法などについて伝える場としてオンラインで実施した。オリエンテーションが実施されないと、お互いの顔を知らずに進めることになってしまうので、重要な機会となっている。。

2024年4月26日（金）10:00～11:00

## iv 市民環境講座

環境保全活動を進めていくための専門的な知識や団体間のネットワーク構築について学ぶ場として市民環境講座を開催した。選考委員に講師を依頼した。一般1年目とファーストステップ1年目の採択団体は、出席を必須とした。

第1回 2024年7月17日（水）14:00～16:00 参加者：36名

滋賀県県民交流センター

「環境保全活動に取り組むうえで知っておきたい消費行動の話」

講師：辻博子さん

第2回 2024年9月8日（日）14:00～16:00 参加者：33名

大津市ふれあいプラザ

「つながればひろがる～ネットワークの作り方・活かし方」

講師：内田香奈さん

## v 団体交流会

採択団体全団体を対象に4回の交流会を開催した。京都で2回、滋賀で2回と準備を進めたが、京都1回と大津1回が台風の接近で中止となり、改めて日時と会場を再設定し開催した。急な変更にも関わらず、全団体参加の目標が達成できたのはよかった。交流の機会がほしいとのことで複数会場の参加を希望する団体もあり、団体間で交流を深めていただく場となった。参加団体からは、同じ地域で活動している団体を知ることができた、一緒に活動できることがあるのではないかと考えた、困っていることを話せる場となってうれしい、他団体の悩みの声を聞き同じようなことがあると思えて心強かったなどの声があり、交流会の目的を達成できたと感じた。終了後も立ち話をつづけている方々が多く、何らかの新たな展開が生まれる可能性が感じられた。



- 第1回：2024年8月24日（土）ひとまち交流館京都 参加者・26名  
第2回：2024年9月5日（木）滋賀県立県民交流センター 参加者・33名  
第3回：2024年9月20日（金）YIC 京都 参加者・16名  
第4回：2024年9月29日（土）滋賀県立県民交流センター 参加者・11名

vi ステップアップ講座

一般助成は3年まで継続が可能となっているが、組織基盤強化に取り組む団体に対して3年目終了後に、ステップアップ助成の枠組みがある。ステップアップ助成では環境保全活動と組織基盤強化を同時に取り組むことになるが、この組織基盤強化策をどのように構築するか、それを応募書類にどのように書きこむかなどについて説明し、事業企画の相談に応じるステップアップ講座を開催した。ステップアップ助成の説明と組織基盤強化の考え方についての講話、それぞれの団体の個別ワークを実施した。参加団体によって課題が異なるため、スタッフが個別に相談対応した。

2024年10月27日（日）13:30～16:00

大津市市民活動センター大会議室 参加：6団体

vii ファーストステップ団体ヒアリング

ファーストステップ助成では、終了後に一般助成へ応募することを必須としている。4月からの活動状況を確認しながら、次年度どのように対応していくかについて個別のヒアリングを全団体対象に2日にわたり実施した。会場参加を基本としつつ、期間内で日程調整ができなかった団体はオンラインで対応した。

1日目：2024年11月8日（金）9:30～17:00 草津市立市民総合交流センター

2日目：2024年11月9日（土）10:00～16:30 草津市立市民総合交流センター

オンライン対応 3団体

viii 活動訪問

一般助成1年目団体の活動現場を訪問し、取材を行った。訪問して作成した記事を写真とともにホームページサイトに掲載して情報発信した。この訪問を通じて団体との関係性が構築できるとともに、活動内容だけではなく情報も収集でき、以降の相談対応等に活かすことができている。また、平和堂財団が積極的に同行され、団体にとってはこの機会にいろいろ伝えようという意欲が高まったようである。

ix 活動報告書

団体の活動内容を取りまとめた報告書として、A4サイズで1000部作成。1事業あたりA4サイズの1/3スペースで、一般助成採択団体のすべての事業を掲載している。広報ツールとして応募を検討している団体などへの情報提供用として積極的に配布した。

x 説明会・相談会

夏原グラントへの応募を考えている団体を対象に、募集要項作成後に2025年度応募のための説明会を実施した。説明会終了後には相談会を設定し、応募に向けての質問などの相談に応じた。昨年度に引き続きオンライン相談会を実施したところ、相談団体数が増加した。ファーストステップ団体には、相談会への参加を積極的に呼びかけ、今年度は一般助成の団体も含めて継続団体のオンライン相談数が増加した。

・大津会場：2024年11月25日（月） 参加：2団体

・京都会場：2024年11月28日（木） 参加：1団体

・近江八幡会場：2024年12月1日（日） 参加：2団体

- ・草津会場：2024 年 12 月 3 日（火） 参加：1 団体
- ・京都会場：2024 年 12 月 8 日（日） 参加：3 団体
- ・オンライン 計 13 団体

#### xi 専用ホームページサイトの運営

団体訪問の取材記事、講座や助成金情報を掲載して広報を行った。特に取材記事の掲載では、一般助成 1 年目団体の活動の場を実際に訪問することで、計画書だけではわからない内容や団体の様子を垣間見ることができ、今後の相談対応時に活かせることが多い。取材した内容を記事としてまとめ写真とともに専用ホームページサイトに掲載した。団体からは、自分たちの内部だけではなく外からの目で記事を書いてもらい、気づきにつながったという意見があった。

#### xii 2025 年度助成にかかる準備

2025 年度に活動の対象となる助成事業の応募から選考にかかる一連の業務について、2024 年度内に準備を進めた。vi のステップアップ講座、x の説明会・相談会も、その一環である。具体的には要項の作成、説明会・相談会の開催、継続応募団体対象・応募書類書き方講座、個別相談対応、応募受付、団体ヒアリングの実施、選考委員会・公開プレゼンテーションの運営などを行った。

応募書類書き方講座は次の通り

- 一般 1 年目、一般 2 年目：2024 年 11 月 22 日（金）オンライン
- 一般 3 年目応募団体対象・団体ヒアリング日程は次の通り
- 一般助成 3 年目団体対象：2025 年 2 月 21 日（金）10:00～15:30
- 2025 年 2 月 22 日（土）10:00～15:45

選考委員会・公開プレゼンテーションの日程は次の通り

- 一般助成 1 年目
- 1 次選考（書類選考）：2025 年 2 月 27 日（木）10:00～12:00
- 2 次選考（プレゼンテーション・選考委員会）：2025 年 3 月 20 日（木・祝）9:30～17:00
- 一般助成 2 年目
- プレゼンテーション・選考委員会：2025 年 3 月 9 日（日）9:30～16:30

応募団体数・採択団体数は次の通り 採択団体数（応募団体数）で表記

- 一般助成：1 年目 16 団体(40 団体)、2 年目 14 団体(14 団体)、3 年目 13 団体(13 団体)
- ステップアップ助成：1 年目 0 団体(2 団体)、2 年目 1 団体(1 団体)
- ファーストステップ助成：1 年目 13 団体(23 団体)、2 年目 7 団体(7 団体)

#### ②生活協同組合コープしが できるコトづくり制度（受託事業）

一人ひとりが持つ「想い」や「願い」が結びつき、誰もが安心して暮らし続けることができる地域社会を実現していくための支援として創設された「できるコトづくり制度」の運営事務局を引き続き担った。

講座は会場とオンラインでの 2 通りで開催したが、全体的に参加者が少なく、特に会場開催の回では申し込みがあったものの欠席ということが多く、少人数での開催となった。講座メニューは昨年同様の 5 つのテーマで、会場・オンラインを合わせて 8 回開催した。

助成金関連では、活動訪問とレポート作成・専用ホームページサイトへの公開、ホームページサイトの運営などについては引き続き実施し、2025 年度に向けた助成金の募集・審査会運営、説明会、団体からの相談対応などを行った。2024 年度の新たな取り組みとして、審査委員からの指摘に応じて、次年度応募に向けた応募書類書き方講座をオンラインで実施した。

i 2024 年度採択団体

・ はじめて助成 1 年目 5 団体

2 年目 5 団体 助成金総額 936,000 円

・ 活動助成 1 年目 3 団体

2 年目 3 団体

3 年目 3 団体

助成金総額 2,643,000 円

計 19 団体 3,579,000 円

2024 年度の助成金対象団体数と助成総額は以下のとおりである。

<はじめて助成>

1 年目

団 体 名	事 業 名	助成額
ママとパパを支える会	集って話して楽しく子育てしよう	100,000
減災 My Town 風呂敷プロジェクト	減災 My Town 風呂敷プロジェクト	46,000
市民活動団体 すまいる	おいでやす わくわくこどもタウン まちづくり活動	100,000
かえでの庭	自然体験活動、親子で育ちあう居場所づくり	100,000
陽だまり 安	子どもも大人も みんなの居場所	100,000

2 年目

団 体 名	事 業 名	助成額
湖城が丘サロン	地域高齢者交流支援	100,000
長浜市神田地区自主防災会	安全安心のまちづくり	100,000
Birth For the Future@しが	BFF@しが #女性が望む継続ケア #選べるお産 SHIGA #安心できる出産体験	100,000
手話カフェ Pocky	聴導犬啓発プロジェクト	90,000
こどもの居場所 ばあちゃんち	学校にいきづらい子どもの居場所づくり	100,000

<活動助成>

1 年目

団 体 名	事 業 名	助成額
スマイル甲賀	不登校の生徒・児童の居場所の取組に向けて	300,000
びわこ豊穡の郷	目田レンジャー ホタルを守ろうプロジェクト！！	293,000
全国ギャンブル依存症家族の会 滋賀	ギャンブル依存症の家族が抱える問題を広く 周知するために普及活動を行うこと	300,000

2 年目

団 体 名	事 業 名	助成額
共生のまち演劇プロジェクト実行委員会	共生のまち演劇プロジェクト	250,000
地域とアートプロジェクト実行委員会	堅田＊はまさんぽ アートプロジェクト 2023	300,000
くらすむ滋賀	街道文化を百年先の世代へつなぐ 目川立場 復活プロジェクト	300,000

### 3 年目

団 体 名	事 業 名	助成額
彦根にほんご教師会	子どもにほんご教室 JUMP	300,000
食物アレルギー対応子ども食堂 スマイルシード	ネットシステムを利用して食物アレルギー親子の食育及びメニュー開発支援活動	300,000
みんなのもうひとつのおうち「キュルア」	学校に行きづらい子ども達とご家族の居場所づくり	300,000

#### ii オリエンテーション

活動助成1年目・はじめて助成1年目の団体を対象に、活動にあたっての注意点や事務手続きについて説明するオリエンテーションをオンラインで実施した。助成金の対象が4月1日以降となるので、活動を始めるにあたってオリエンテーションは重要である。説明終了後の質疑応答では活発に質問がなされ、有意義だった。

2024年4月22日（月）10：00～ 対象団体：8団体

#### iii スタート集会

スタート集会は各団体から団体の自己紹介と取り組む活動について紹介をしてもらった。その後はグループに分かれて、意見交換・情報交換を行った。終了後に自由に話しあっている様子は前年同様であり、対面での交流が効果的であると改めて感じた。

スタート集会：2024年5月25日（土）10：00～12：00 参加者 34名

#### iv 講座

「こんな活動があれば暮らしやすいのに」「困っている人をみんなで支えたい」「自分や仲間の力を地域で活かしたい」など、活動への関心を寄せている方々を対象に、社会の現状と課題や活動への取り組み方法などについて考える場として開催した。今年度は、参加申し込みが少なめであったことに併せて、会場開催会の当日連絡なしでの欠席が多かった。参加した方々からの満足度は高かったものの、開催回数や方法については次年度に向けて検討する必要性を感じた。

##### 第1講：「活動の始め方」

2024年9月14日（土）G-net しが 参加者・1名

2024年9月18日（水）オンライン 参加者・13名

##### 第2講：「活動資金のいろいろ」

2024年9月21日（土）ウイングプラザ 参加者・1名

2024年9月26日（木）オンライン 参加者・10名

##### 第3講：「活動継続のために知っておきたいこと」

2024年10月3日（木）ウイングプラザ 参加者・4名

##### 第4講：「他団体の活動を知って参考にしましょう」

2024年10月19日（土）ウイングプラザ 参加者・6名

事例発表 カズン・地球ハードビレッジ

##### 第5講：「活動計画書・予算書づくり」

2024年10月23日（水）草津市立市民総合交流センター 参加者・4名

2024年10月26日（土）ウイングプラザ 参加者・4名

それぞれの回でのアンケートで「市民団体・NPOについてのさまざまな情報が学べた」「助成金は大変そう思ったが、とにかく相談することが大事だと感じた」「やりたいこと、これからの課題がクリアになった」「『やりたい』という気持ちだけでは団体は長続きしづらいと改めて感じた」などの感想が寄せられた。

v 活動訪問

採択された団体を訪問し活動について取材を行い、それを記事としてまとめ、専用ホームページサイトに掲載した。実際に活動の場を訪問することで、計画書だけではわからない内容や団体の様子を垣間見ることができ、その後の相談対応などに活かせることが多い。

vi 説明会・相談会

応募を考えている団体を対象に、募集要項作成後に説明会を実施した。説明会終了後の相談会では応募にかかる質問や相談に応じた。会場での開催と、日時を指定してその中から自由に選べるオンラインによる相談を行った。

会場開催

説明会・相談会

2024年11月14日(木) 草津市立市民交流プラザ 説明会：2名 相談会：2名

2024年11月23日(月) 草津市立市民総合交流センター 説明会：2名 相談会：2名

2024年12月5日(木) G-NET しが 説明会：4名 相談会：4名

オンライン

説明会

2024年12月2日(月) 参加：4名

相談

2024年12月3日(火) 参加2名

2024年12月4日(水) 参加0名

vii 応募書類書き方講座

2025年度の応募に向けて、継続応募となる団体に応募書類書き方講座を実施した。審査委員から、実績や成果、そこからの次年度に向けた取り組みへの反映などがわかるような記載が求められたことから実施したものである。

viii 専用ホームページサイトの運営

団体訪問の取材記事、講座や助成金情報を掲載して広報を行った。記事にしてHPに掲載することで団体の情報を発信することができている。

ix 2025年度助成にかかる準備

2025年度活動の対象となる応募から審査について、2024年度内に準備を進めた。viの説明会・相談会、viiの応募書類書き方講座も、その一環である。

具体的には申込みガイド(募集要項)作成、説明会・相談会、応募受付事務、プレゼンテーション・審査会の運営、ホームページへの情報掲載などである。

審査会は、2025年3月1日(土)に開催した。

応募団体数・採択団体数は次の通り(団体数は「応募」「採択」の順で記載)

はじめて助成1年目 16団体・5団体、はじめて助成2年目 5団体・5団体

活動助成1年目 13団体・5団体、活動助成2年目 3団体・3団体、

活動助成3年目 3団体・3団体

### ③大和リース まちづくりスポット大津

「NPO 法人まちづくりスポット大津」は中間支援組織として5年目を迎えた。しがNPO センターは2024年度も引き続きアドバイザーという立場で活動を行った。しがNPO センターが長年培ってきた専門的な知見・スキルを提供する立ち位置とし、スタッフが「今やっていること」の意味や価値に気づくようなアドバイスを心がけた。

まちづくりスポット大津への支援内容は主に次のとおりである。

- ・「わかばサロン」においての相談対応
- ・事業の企画アドバイス、進捗管理、および実施時の支援
- ・まちスポが主催する講座・ワークショップなどでの講話や助言
- ・県内中間支援スタッフ向け講座の講師や助言
- ・「全国まちスポ交流会」の企画・準備・当日運営の支援
- ・「夏原グラント」業務移行支援
- ・大和リースとの定例会議への参加

### (2) 役員・職員が関わる委員会等

しがNPO センターとして組織的に取り組んでいるものではないが、役員や職員が行政・団体の委員会の委員等または講座・セミナーなどに出席・出講した。

- ・滋賀県レイカディア大学「課題学習をみんなで進めるために」 講師 2回
- ・滋賀県レイカディア大学地域文化学科「まちづくり講座」 講師 3回
- ・滋賀県社会福祉協議会「第3回子ども食堂アドバンスプロジェクト」 講師 1回
- ・滋賀県市町村振興協会懇話会 委員 開催2回
- ・大津市商店街連盟円卓会議 コーディネーター 開催5回
- ・草津市景観審議会 委員 開催1回
- ・守山市市民提案型まちづくり支援事業審査委員会 委員 開催1回
- ・栗東市協働事業提案審査委員会 委員長・委員 開催2回
- ・栗東市市民参画等推進委員会 委員 開催4回
- ・栗東市「栗東市元気創造まちづくり事業サポート講座」 ワークショップ講師 1回
- ・彦根市福祉保健部・子ども未来部指定管理者候補者選定委員会 委員 開催2回
- ・長浜市市民協働推進会議 委員長・副委員長 開催 開催5回
- ・長浜市市民活動団体支援事業審査会 委員 開催3回
- ・長浜市「市民協働セミナー 助成金を知ろう」登壇者 1回
- ・東近江市文化財保存活用地域計画協議会 委員 開催1回
- ・東近江市景観審議会 委員 開催1回
- ・東近江市わくわく市民活動支援補助金審査会 委員 開催1回
- ・事業指定寄付制度にじまちサポーターズ（まちづくりネット東近江） 委員 開催1回

### (1) コラム発信

2013 年 6 月より、NPO を取り巻く環境や課題、また時々の社会的な問題などについて、HP サイトでコラムとして発信している。2024 年度は 1 か月に 1 回、計 12 回リリースした。

2024 年 4 月 市民活動・NPO を社会へ根付かすには

5 月 能登福祉救援ネットワークの活動

6 月 「協働」を進めるためのアプローチ

7 月 ザル法と言われていた政治資金規正法の底が抜けた！

8 月 貧困と孤独・孤立は自己責任か

9 月 企業・団体の政治献金をどう考えるか

10 月 能登豪雨水害

11 月 本当に健康保険証を廃止するのか

12 月 公職選挙法から見える選挙

2025 年 1 月 議論の重要性

2 月 人権が守られる社会に

3 月 なぜ、これほどまでに兵庫県政に注目が集まるのか

## 5 災害ボランティアコーディネート事業

### (1)「災害支援市民ネットワークしが」の運営

#### ①「災害支援市民ネットワークしが」

2013 年度に、滋賀における市民の災害対応力を高め、行政や社会福祉協議会等と連携しながら、災害発生時のボランティア派遣、ボランティアセンター運営支援、ボランティアコーディネート等の災害支援活動、平時における防災活動の啓発などを行うことを目的に構築されたネットワークである。災害時に互いに声を掛け合うことができる関係を築くことも大きな目的である。県内外での災害時に災害ボランティアセンター運営支援やコーディネート、独自の情報発信などができることを目指し、しが NPO センターが事務局を担っている。

このネットワークは、緩やかにつながることを目的としていることもあり、対象となる団体に声掛けをすることはあるが、具体的な加入につながることは少ない。それでも 2024 年度は、研究会に参加された方に積極的な声掛けをおこない、2024 年度会員は、団体会員：18 団体、個人会員：70 人であった。

総会日時 2024 年 6 月 21 日（金）13：00～13：30

開催場所 滋賀県立県民交流センター204 会議室 参加者：12 名

総会終了後に第 1 回研究会を開催した。

#### ②研究会

災害支援市民ネットワークしがが主催する研究会として、テーマを設定し開催しているが、これを近畿労働金庫が主催する NPO パートナシップ制度の枠組を活用して実施している。2024 年度より、全国で展開される「<ろうきん>働く人と子どもの明日を応援プロジェクト 2024」での実施に移行となり、「災害と子ども」にテーマを絞ることとなった。そのため、災害支援だけではなく、広く子どもに関わる活動団体へ情報を届けるべく広報に努めた。その成果もあり、今まで参加がなかった団体や個人の参加が見られた。

第 1 回：2024 年 6 月 30 日（金）15：00～17：00 参加者：28 名

「防災教育と災害時における子ども支援の現状を知ろう」

講義：石井布紀子さん（NPO 法人さくらネット）

- ・被災した子どもたちの PTSD を克服するためには、3 つの安心感：よりそうことによる安心感、災害のメカニズムを知る安心感、二度と同じこと起こさない安心感が必要である。
- ・地域内で防災教育が継続的に行われると、年齢を通してそれが伝わっていき、災害時に生きる。小学校高学年くらいからは自己決定できる力があり、応援される側ではなく自分たちで気づき活動していくという存在であることを理解することが重要である。

第 2 回：2024 年 10 月 21 日（金）13：30～16：30 参加者：14 名

「よりよい学習支援を通じた被災児童への心のケア・エンパワメントアプローチの可能性」

事例報告：浦嶋博幸さん（一般社団法人子どものエンパワメントいわて代表理事）

聞き手：石井布紀子さん（NPO 法人さくらネット）

- ・学習支援は生活支援の入り口であるという立場から、エンパワメントいわてではそこに力をいれ子どもたちに関わった。様々な問題を抱えている子どもも多いが、子どもの生活やバックボーンなどは気にせずに向き合ったことで、成果があげられた。



- ・子どもたちが学習に集中できる雰囲気が必要で、家庭の状況などの話をあえて出さないこと、偏見のメガネがないこと、評価をしないことで救われる子が多かった。

第3回：2024年12月10日（火）13：030～16：00 参加者：21名

「災害時の子どもの居場所づくり」

講師：石井布紀子さん（NPO法人さくらネット）

- ・厚労省の資料「地域共生社会づくりについて」では、人と人とのつながりそのものがセーフティネットで、「地域住民の気にかける関係性」と「専門職による伴走型支援」が重要とされている。
- ・支援で重要なのは、「早期の支援」「本人・世帯を包括的に支えられる支援」「本人の力を引き出す支援」などだが、その中で「地域とのつながりや関係性づくりを行う支援」での居場所づくりは有効な支援方法であり、みんなが集まることによって生活を立て直すだけでなく減災力・防災力が深化していく。

## (2) 近畿ろうきん NPO パートナーシップ制度

### ① 災害支援市民ネットワークしが研究会（再掲）

5-（1）-②の研究会のうち、i—第1回研究会、ii—第2回研究会、iii—第3回研究会を、近畿ろうきんパートナーシップ制度の枠組みで実施した。

### 近畿ろうきん NPO パートナーシップ制度

近畿ろうきんが2000年度から始めた近畿2府4県内でのNPO・ボランティア活動を促すための制度。

2011年度からは東北地方を中心とした被災地での復興支援活動に力を入れていたものの、年月が経過する中現地支援からは軸足が遠のいていた。しかしながら2016年4月に発生した熊本地震を機に、現地支援の必要性から再度復興支援活動に取り組むこととなった。2018年度からはSDGsに関わり「誰もおいてきぼりにせえへん」をテーマに掲げて事業を進めている。2024年度からは、全国で展開される「<ろうきん>働く人と子どもの明日を応援プロジェクト」の支援金を活用した取り組みが始まった。

### ② 共通企画

近畿2府4県のNPO支援センターと近畿ろうきんが共同で事業に取り組むもの。2024年度は「働く人と子どもの明日を応援プロジェクト2024」と連動したテーマで、講演とパネルディスカッションが行われた。2024年度は京都府のNPO法人きょうとNPOセンターが当番で、会場とオンライン併用で実施された。

2025年3月15日（土）13：00～16：00

#### i 基調講演

「子ども支援のためにできること～こども・若者の声を聴く～」

村井琢哉さん 山科こどものひろば前理事長

#### ii パネルディスカッション

「ソーシャルセクターによる子育て支援」

志場久起さん わかやま NPO センター  
山村弘美さん コミュニティ・サポートセンター神戸  
村井琢哉さん 山科こどものひろば前理事長

### (3) 滋賀県災害ボランティアセンター運営協議会

#### ① 第1回災害ボランティアセンター運営協議会

前年度報告及び本年度計画、災害中間支援組織について議論した。

日時：2024年7月4日（木）14:00～16:00

場所：滋賀県危機管理センター

#### ② 第2回災害ボランティアセンター運営協議会

災害ボランティアセンター機動運営訓練の実施方法について、ワークショップを行って検討した。

日時：2024年9月6日（金）13:30～16:00

場所：滋賀県危機管理センター

#### ③ 災害ボランティアセンター起動運営訓練

災害支援市民ネットワークしがが担うべき役割を再確認するとともに、それに伴った訓練を災害ボランティアセンター内で独自に行った。

日時：2024年10月24日（木）8:30～11:00

場所：滋賀県危機管理センター

#### ④ 第3回災害ボランティアセンター運営協議会

災害中間支援組織について議論した。

日時：2025年3月12日（水）15:00～16:30

場所：滋賀県危機管理センター

## 6 ネットワークの構築

### (1) 近畿ろうきん NPO パートナーシップ制度

「近畿圏 NPO 支援センター連絡会議」に出席

2024 年 5 月 28 日（火）近畿ろうきん肥後橋ビル

2024 年 9 月 10 日（火）近畿ろうきん肥後橋ビル

2024 年 12 月 6 日（月）近畿ろうきん肥後橋ビル

2025 年 2 月 26 日（水）近畿ろうきん肥後橋ビル

### (2) 日本 NPO センター CEO 会議

2024 年 8 月 28 日（水）、29 日（木） 東京開催、zoom で参加

2024 年 1 月 29 日（水）、30 日（木） 岐阜開催、欠席

### (3) 中間支援センター意見交換会

県内の中間支援団体で組織する意見交換会に参加した。

今年度の世話役は、淡海ネットワークセンター、草津市コミュニティ事業団、甲賀市まちづくり活動センター

① 2024 年 6 月 20 日（木） 会場：滋賀県立県民交流センター

テーマ：相談集計表に基づいて、情報交換。自己紹介ワーク、  
グループディスカッション

参加：幡

② 2024 年 10 月 22 日（火） 会場：草津市市民総合交流センター

テーマ：助成金や市民活動表彰制度

各助成金主催団体からの説明

各センターの情報交換

参加：幡

③ 2025 年 2 月 16 日（金） 会場：甲賀市まちづくり活動センター「まる一む」

テーマ：中間支援としてやれることなどを考えよう！

各センターの情報交換

欠席

## 7 会議等の開催

### (1) 総会

2024 年 5 月 26 日（土）13：30～14：00 大津市ふれあいプラザ

37 名（うち委任状 29 名）

### (2) 理事会

第 55 回      2024 年 5 月 21 日（火）

第 56 回      2024 年 10 月 10 日（木）

第 57 回      2025 年 3 月 25 日（火）